

XML マルチメディアサーバシステムの研究開発（株式会社メディアフュージョン）平成16年度事後評価結果

項目	評価	総合所見
総合所見	A	<p>XMLで定義する平面ベクトル画像のSVGや動画のSMILを処理する基盤システムとして、SVG/SMILデータの圧縮・拡張仕様とSVG/SMILデータの蓄積・検索処理の高速化とに関する開発を行い、</p> <ol style="list-style-type: none">1) SVG/SMIL用のアプリケーションサーバの開発2) モバイル端末用SVG/SMILクライアントの開発3) 観光案内情報の配信を行うテストサイト構築 <p>を実施しており、当初の目標を達成している。</p> <p>モバイル端末向けに大量のSVG/SMILコンテンツを高速に管理、検索・配信するデータベースシステムは見あたらず、技術的な優位性は存在する。同時アクセス数は、OSの能力の依存しており、そのためWindowsでは100程度ということである。それ以上のアクセスを求めるときはSolaris等が必要となり、本格利用段階でのシステムに対する要求条件を検討する必要がある。</p> <p>本研究開発による研究成果として3種類の製品を既に提供しており、販売実績もあるなど収益納付を早い段階から達成できており、所定の納付達成確度は高いものと評価する。今後は成長が予測されるXMLマルチメディアサーバ市場において、機能強化等の御社独自の優位性を明確にすることによりシェアの拡大を期待する。</p>